

小児への経口与薬



与薬方法として経口与薬は最も簡単な方法に思えますが、小児の経口与薬は成人と異なり決して簡単ではありません。本シリーズでは、正確で安全に苦痛を少なく投与する知識・技術に焦点を当て、投与前の確認の重要性、スムーズに服薬するための工夫、さらに服薬コンプライアンスを高める方法について学ぶことができます。実習前の事前学習などに、ぜひご活用ください。



NEW DVD ● 全3巻

■ 原案監修：園田 悦代
京都府立医科大学 医学部 看護学科 准教授

■ DVD 各巻価格 ￥28,000 (本体価) + 税
■ DVD セット価格 ￥84,000 (本体価) + 税

vol.1 基礎知識 20分 NEW

経口与薬で知っておきたい小児の薬物動態、食行動の発達、嚥下機能、さらに知的機能やコミュニケーション能力などの基礎知識を説明します。なぜ薬用量が少ないのか、誤嚥や窒息を起こしやすいのか、スムーズに服薬させるにはどうすればよいのかといった視点で解説し、正確で安全にそして苦痛の少ない経口与薬を行うための知識を紹介します。また与薬における6Rについても説明しています。



vol.2 基礎技術 (乳児・幼児編) 25分 NEW

経口与薬の準備として、処方指示箋の照合、薬の準備(液剤・散剤)、与薬に使う物品の準備について手順を追って紹介します。また1歳児の経口与薬では、スプーンや乳首、散剤を団子状にして投与する方法を紹介し、スムーズに服用させる工夫を見ていきます。4歳児の経口与薬では、服薬を拒否する場合にどのようなかわりが必要に焦点を当て、納得させて服薬させるプリパレーションの実際を見ていきます。



vol.3 基礎技術 (学童・家庭編) 23分 NEW

錠剤を処方された学童(小学3年生)が苦痛なく服薬できるようにするための、投与方法やかかわりを見ていきます。また、服薬を拒否する学童に対して、薬の必要性を理解させるかわりを紹介します。さらに家庭でできる経口与薬の工夫を紹介し、食品との相互作用、服薬補助ゼリーを使った方法などを見ていきます。



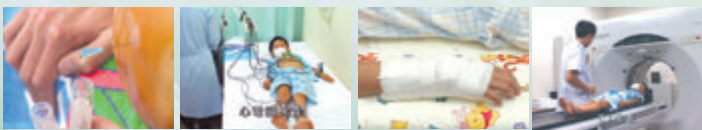
©2014



子どもの病気と看護技術



このシリーズでは、小児白血病に焦点を当てます。通常の実習では経験することが難しい臨床現場の映像が豊富に収録されており、現場で実際に行われている処置、看護師の業務について学ぶことができます。実習前の事前学習、また看護師の新人研修などにもぜひご活用ください。



■ 原案監修：中垣 紀子 愛知きわみ看護短期大学 教授
■ 学術協力：加藤 剛二 名古屋第一赤十字病院 小児血液腫瘍科 部長

DVD ● 全3巻

■ DVD 各巻価格 ￥28,000 (本体価) + 税
■ DVD セット価格 ￥84,000 (本体価) + 税

vol.1 小児白血病の検査と治療 概要 20分

小児白血病の治療過程を、外来受診から白血病の検査と診断そして治療まで、簡潔に順を追って解説します。外来受診時では、初期に見られる身体所見について。診断までに行われる検査や処置では、血液検査、骨髄検査、腰椎穿刺などについて。治療では、化学療法、支持療法としての輸液、造血肝細胞移植の概要を分かりやすく説明します。また白血病の主な種類と分類、小児白血病の傾向、晩期障害についても説明します。さらに番組の最後では、白血病の子どもをもつある家族が看護師に宛てて思いを綴った手紙を紹介します。



vol.2 採血・輸液を受ける子どもへの援助 28分

頻繁に行われる処置である採血、輸液に焦点を当て、処置の目的や操作の手順、ポイントを実写とCGで分かりやすく解説します。臨床場面では、最も一般的な肘正中皮静脈からの採血を取り上げます。子どもが採血を行う際、主体的に処置を受けられるようにするために看護師が行う援助の方法やポイントについて、CGを交えて解説します。また、手背静脈からの輸液と中心静脈からの輸液に焦点を当て、器具の操作や取り扱い、援助の方法やポイントについて分かりやすく解説します。



vol.3 骨髄穿刺・腰椎穿刺を受ける子どもへの援助 24分

急性リンパ性白血病の治療のために骨髄穿刺、腰椎穿刺を受ける1才女児の臨床場面を通して、患児や家族が安心して主体的に検査を受けるための説明とケア(患児の身体的・心理的準備、処置後のケア)、処置を安全かつスムーズに行うために必要な看護師の業務(処置室の準備、必要物品の準備、処置中の患児の観察、患児の固定法)について解説します。また処置の目的や適応、セデーションについても解説します。



©2006